



東京と江戸をつなぐ - 風景と場所



出典：『江戸名所図会 4巻』より「牛込 神楽坂」
『江戸切絵図』

開催日時：2019年7月6日（土）13時30分～17時30分

場所：法政大学市ヶ谷キャンパス 富士見ゲート6階G602教室

主催：法政大学地理学会 / 法政大学江戸東京研究センター

本シンポジウムでは、「東京のなかの江戸」をコンセプトとして、人々にとっての地域のイメージおよび客観的に形成される地域の個性について明らかにすることを目的とします。人文主義的地理学と実証主義的地理学という人文地理学の二つの方法論を用いて論じることで、「江戸東京」という場の個性＝ユニークさを明らかにする一助となることを目指します。

●挨拶：

細田浩（法政大学地理学会会長）

横山泰子（法政大学江戸東京研究センター長）

●趣旨説明・司会：

小原文明（法政大学准教授）

●報告者：

米家志乃布（法政大学教授/江戸東京研究センター）

牛垣雄矢（東京学芸大学准教授）

「近代の名所図会・絵地図からみる江戸イメージ～京・大坂と比較して」

「東京の近代都市整備と神楽坂における地域的個性の形成」

●コメントーター：

根崎光男（法政大学教授/江戸東京研究センター）

横山泰子（法政大学教授/江戸東京研究センター長）

入場無料 事前申し込み不要

法政大学地理学会 102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学文学部地理学教室内 E-mail: hoseichiri@chiri.info

法政大学江戸東京研究センター 102-8160 東京都千代田区富士見2-17-1 E-mail: edotokyo-jimu@ml.hosei.ac.jp